



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2021年10月31日号

編集 / 毎日新聞社カスタマーリレーション本部



車から有権者に手を振る候補者＝東京都江東区で
2021年10月28日、小出洋平撮影

論点 衆院選の結果から

11月3日(水)＝オピニオン面

今回の衆院選は過去の選挙と大きく異なります。これまで経験したこともなかった新型コロナウイルスの感染拡大に見舞われ、日本社会が抱えていたさまざまなひずみが露呈しました。

衆院選で各党はワクチンや

病床の確保といった感染症対策、コロナ禍で影響を受けた事業者や個人への支援、児童手当や教育の無償化などを掲げました。

こうした訴えは国民にどのように届いたのか、有識者が投票結果を読み解きます。

第49回衆院選投開票

11月1日(月)＝1面など



衆院選公示前に日本記者クラブ主催の
党首討論会に出席した与野党9党首
＝東京・内幸町の日本記者クラブで

第49回衆院選は31日に投開票され、11月1日未明に大勢が判明する見通しです。

就任間もない岸田文雄首相にとって初の大型国政選挙で、自民、公明両党が引き続き政権を維持するかどうか
が焦点。立憲民主、共

産、国民民主など野党5党の小選挙区での共闘の行方も注目されます。日本維新の会は地盤の大阪から全国に勢力拡大を狙っています。

選挙結果の速報と分析に総力取材で臨み、充実した紙面をお届けします。

特集 ワイド



Z世代が求める政治

11月2日(火) 夕刊特集ワイド

31日に衆院選が終わっても、政治課題への取り組みはむしろこれからです。新型コロナウイルス対策や年金問題など身近な問題が山積していますが、次の時代を担う「Z世代」(1995年以降に生まれた世代)

が未来像を描くために、今の政治に求めることは何でしょうか。タレントの加藤ジーナさん(25) 写真右 食文化研究家の長内あや愛(め)さん(25) 写真左 同左に尋ねてみました。

「そこが聞きたい」韓国#MeToo運動の新潮流

11月2日(火)＝オピニオン面

性暴力を告発した被害者と連帯する「#MeToo」運動は、韓国では文化・芸術分野から法曹界や政界にも広がり、社会改革の新潮流をつくりました。韓国女性たちの行動は、日本の若い女性たちの関心も集め、励ましている

とされています。その力の源は何でしょうか。韓国の女性活動家や研究者による著書「#MeTooの政治学」の邦訳を監修した、お茶の水女子大の申琪栄(シン・キヨン)教授＝写真＝に聞きました。



新毎日

150
2022年2月21日
毎日新聞創刊150年



編集後記

「あなたの政党を花にとえろ」としたら。毎日小学生新聞が政党にアンケートした記事が26日に載りました。3党がバラを挙げていて、我が家では「かぶってるね」と突っ込みを入れたら、公約の記事と合わせて各党を比べ、今日の投票日に備えました。

「どの政党を選べば良いかわからない」と感じている方もいらっしゃると思います。新聞を開いてみてはいかがでしょうか。「知りたい」に「応えてく」りますよ。(斎藤広子)